



# 竹林

白河市立五箇中学校だより No. 16

発行 令和3年7月9日  
発行責任者 校長 菅野 靖



## 少年の主張大会

7月5日に白河文化交流館コミネスにおいて、白河市青少年健全育成推進大会が行われ、各中学校の代表生徒による「少年の主張」の発表がありました。五箇中学校からは、3年の星昇太郎さんが学校代表として、「深く考えたい、平等と公平を」という題で発表しました。会場には、白河市内の中学2年生（約500人）が発表を聴くために参加していましたが、昇太郎さんは大人数を前にしてもおじせず、堂々と発表しました。「平等」と「公平」はその人の立場や思い、価値観の違いで変わるものであり、昇太郎さんは「人と接するとき、平等と公平のどちらが相手にとって心地よいかを考えて生活していきたい。」と述べて主張を締めくくりました。

本人は「今まで練習していた中で一番の出来」と感想を述べており、他の発表者に引けを取らない素晴らしい内容と発表でした。審査の結果発表で、「市長賞は、五箇中学校の星昇太郎さん」と名前を呼ばれたときは、本人も驚いていましたが、表彰式では、誰よりも礼儀正しく賞状とトロフィー、そして図書券の副賞をいただきました。大変名誉ある賞をいただくとともに、とても良い経験をすることができ、これからも、周りを気遣いながら平等そして公平に生活し素晴らしい未来を作り上げていってほしいと思います。

## 少年の主張「市長賞」受賞



【堂々と発表する星昇太郎さん】



【「市長賞」受賞】

## 福島県中体連陸上競技大会

## 五箇中生

## 県陸上大会で活躍



【1位で予選を通過する齋藤正弥さん】



【予選で力走する佐藤陽香さん】

7月5日、6日、7日と郡山ヒロセ開成山陸上競技場で福島県中体連陸上競技大会が開催され、五箇中からは、1年女子100mに佐藤陽香さんと2年男子100mに齋藤正弥さんが出場し、各地区大会で予選を勝ち抜いた代表と高いレベルで競走しました。陽香さんは、自己ベストまでは出すことができませんでしたが、力走して、県大会で競技できたことは、今後の成長につながる意味ある経験だったと思います。正弥さんは、準決、決勝と勝ち進み、県で6位入賞を果たしました。本人は4位以内を目標に大会に臨みましたが、今回の走りを分析し、これから自己記録の更新を目指し、努力を積み重ねて自分の壁を打ち破ることを期待しています。

## 福島県中学校学年別卓球選手権大会

## 県学年別選卓球手権大会に出場

7月3日、4日とあいづ総合体育館で行われた福島県中学校学年別卓球選手権大会に2年高松凛さんと1年鶴楯慶翼さんが参加しました。県南地区の代表として他の地区の選手と予選リーグで戦いましたが、惜しくも決勝トーナメントへは進出できませんでしたが、2人とも、県内の強豪選手と対戦でき、良い経験ができたと思います。これから、新人戦に向け練習を重ね、さらなる向上と活躍に期待します。